

収蔵作品展「美術館で季節を感じる—初夏の人と風景—」

特集展示「小椋康彦—深まる色彩とモチーフの探求—」

2014年 6月14日(土) ~ 7月13日(日)



小椋康彦《消え行く川辺》

1987年 個人蔵

「美術館で季節を感じる」をテーマに、当館収蔵作品のなかでも初夏の風景や人物像を描いた作品を展示いたします。爽やかな初夏の風情を美術館で感じてみてください。

また、特集展示では諏訪市在住の洋画家小椋康彦氏の洋画を展示いたします。深みのある色彩と、重厚感あるマチエールが特徴の小椋氏の油彩画。本展では、「諏訪の川辺」「船」「静物」「旅先の風景」ほか、約30点の作品をご覧ください。

【小椋康彦 略歴】

1930年 諏訪市小和田南生まれ。1948年諏訪商業学校（現諏訪実業高校）卒業後、就職。1955年より勤務の傍ら、独学で油絵を始める。3年後には諏訪美術研究会に入会し、小松秀雄の指導を受ける。1960年諏訪美術展での初入選を皮切りに、長野県勤労者美術展、長野県展、春陽展、写実画壇展、等数々の展覧会で入選、入賞を果たす。現在は地元で絵画教室を主宰するなど、地元美術の発展に力を注いでいる。

〈会期中のイベント〉

○つきいちアート6月「小椋康彦先生によるギャラリートーク」 ※出品作家による作品解説

日時 6月21日(土) 午後2時~
定員・参加料 定員なし、参加料は入館料のみ（諏訪地域の小中学生は無料）、申し込み不要

○「おはなし鑑賞会」 ※展示作品を参加者全員で感想をおはなししながら見ていく鑑賞会。

日時 6月28日(土) 午後2時~(約40分)
定員・参加料 定員なし、参加料は入館料のみ（諏訪地域の小中学生は無料）、申し込み不要

【開館時間】 午前9時~午後5時（入館は午後4時30分まで） 【休館日】 月曜日、祝日の翌日（6月16、23、30日、7月7日）

【入館料】 大人300円 小中学生150円（諏訪地域の小中学生は無料）

諏訪市美術館 〒392-0027 長野県諏訪市湖岸通り4-1-14 | tel/fax 0266-52-1217

○中央道諏訪インターより車約15分 ○JR中央本線諏訪駅より徒歩7分 ○入浴施設「片倉館」となり